

双ヶ丘中だより



京都市立双ヶ丘中学校 1/8 第25号 文責 林

学校教育目標 「心豊かに探究心をもち、未来へ歩み続ける生徒を育成する」

3学期が始まる

2019年が幕を開け、新年を迎えました。今年の正月3が日は、穏やかな日が続きましたが、冬休みは有意義に過ごせましたか。やるべき事はしっかり実行できたでしょうか。1月7日（月）から3学期が始まりました。3学期はまとめの時期です。1学期と2学期の反省を活かして3学期も充実した学校生活を送ってください。そして1年間の有終の美を飾ってくれることを願っています。また、3学期は新しい学年、3年生は卒業後の新しいステージに向けての準備期間とも考えられます。「3学期は、新しい学年の0学期」として過ごすことも大切です。できていることとできていないことを整理して、できていないところは、ゆっくりでいいですから克服していきましょう。3学期は、1月から3月までと短く、1月は「行く」2月は「逃げる」3月は「去る」といって早く過ぎていきます。特に3年生は、進路決定に向けて大切な時期ですから、なかなかゆっくり物事を考える時間がとれません。しかし、意識をして物事をじっくり考える時間をもってほしいものです。

次に今年の目標について話しをします。「1年の計は、元旦にあり」といいます。生徒の皆さんは、今年の目標をたてましたか。目標をたてるときに2つのことが大切です。1つ目は達成可能であること 2つ目は自分で考えてたてることです。すぐに達成できることを目標にしてはだめですし、達成が不可能なことを目標にしても意味がありませんし、他人の目標を自分の目標にしても意味がありません。ですから目標をたてるのは意外にむずかしいことなのです。また、目標をたてるときに長期の目標と短期の目標を分けてみるのも重要です。長期の目標とは、言い換えれば5年後、10年後の自分はこうありたいと想像してみることです。つまり「なりたい自分を見つける」ことです。短期の目標とは、日々の目標です。毎日の生活でこれだけは実行しようとする具体的な目標です。「早寝、早起きをして規則正しい生活を送る。」「好き嫌いなくバランスのよい食事を心がける」「2時間の家庭学習を行う」などです。短期の目標を地道に達成していくことで長期の目標達成に近づいていきます。目標がたてられていない人は、ぜひ早く目標をたててください。

冬休みに聞いた言葉なのですが、印象に残ったので紹介します。「チャンスは、絶えず挑戦をする人にだけ訪れる」という言葉です。挑戦（チャレンジ）する気持ちをなくさないでください。

3学期も全校生徒が笑顔で、元気に充実した学校生活を送ってくれることを願っています。

※裏面に1月の行事予定を載せておきます。ご覧ください。